

105号建物他空調機更新

工 事 名 称	105号建物他空調機更新	図 面 番 号	1 / 10
図 面 名 称	表 紙	仕 様 書 番 号	
		管 - 66	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊			令和8年6月

特 記 仕 様 書

1 工 事 名 1 0 5 号建物他空調機更新

2 工事場所 茨城県土浦市右舂 2 4 1 0 陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地

3 工事概要 空調機室内機及び室外機、空調用配管の更新

4 工 期 契約日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで

5 一般仕様

(1) 一般事項

- ア 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定公共建築工事標準仕様書及び改修工事標準仕様書による。
- イ 図面と特記仕様書との内容に相違又は明示なき場合、疑義が生じた場合には、監督官と協議を行い指示に従うこと。
- ウ 工事施工に際し、現場の納まり及び取り合わせ等の関係で位置又は工法を多少変え、それぞれによる数量を幾分増減する等の軽微な変更及び技術的に当然施工すべき事項が発生した場合は、監督官の指示に従い施工するものとする。
- エ 本工事に必要な工具類及び消耗部品は、受注者の負担のとするものとする。
- オ 受注者は駐屯地内で工事を行う場合、区域への立ち入り及び行動（出入門手続・火気取扱い・工事用通行路等）は、駐屯地の規則及び関係者の指示を厳守して行うものとし、工事施工場所以外への立ち入りを禁止する。
- カ 本工事で発生する発生材のうち金属類は発生材調書を 2 部監督官に提出するとともに、監督官の指示する場所に集積すること。その他は関係法令に基づき処分し、工期内に「マニユフェスト E 票の写し」を監督官に提出すること。
- キ 工事に必要とする電力水道は、すべて受注者の負担において用意するものとする。

(2) 現場管理

- ア 受注者は、施工体制台帳及び施工体系図（建設業法第 2 4 条の 7）を作成し、「建設業の許可書」及び契約書等の写し（下請負人共）を監督官に提出すること。なお、提出時期は工事中工前、体制変更時及び監督官の求める時期とする
- イ 現場における火災予防、安全衛生並びに在来施設等の保護には、十分注意を払うものとし、一切の責任は受注者が負うものとする。万一、災害及び事故が発生した場合には、速やかに監督官に報告するとともに、その指示に従うものとする。また、第三者等に損害を与えた場合は、受注者の責任において補償するものとする。
- ウ 作業時間は 8 時 3 0 分から 1 7 時までとし、土曜日、日曜日及び祝祭日の作業は原則として実施しないものとする。ただし、やむをえない場合は監督官と調整のうえ実施するものとする。

工事名	1 0 5 号建物他空調機更新	2 / 1 0
-----	-----------------	---------

エ 必要に応じ、既存施設部分等について適切な養生を行うとともに、完成に際しては当該工事に関する部分の適切な後片付け及び清掃を行うものとする。

(3) 材料検査

- ア 工事に使用する材料は設計図書に定める品質及び性能を有する新品とすること。なお、特記なきものについては、J I S 等規格品とする。
- イ 使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料（試験成績書等）を、監督官へ提出すること。
- ウ 材料の色、柄等については、監督官の指示によるものとし、使用材料等の見本は必要に応じ監督官に提出・承認を得るものとする。
- エ 現場に搬入した材料は、その種別ごとに、品質、数量について監督官の検査を受けるものとする。ただし、工場組立等のためにあらかじめ監督官の承諾を受けた場合は、この限りではないものとする。なお、搬入した材料は、工事で使用するまでの間に変質等なきよう、適切に保管するものとする。
- オ 材料検査結果並びに長期保管等による変質等により工事に使用することが適当でないと監督官が判断したものについては、直ちに新品と交換し、再度検査を受けるものとする。

(4) 関係書類

- ア 契約後速やかに作業実施日を監督官と調整し工程表等を提出して監督官の承認を受けるものとする。また、その他工事に必要な申請及び提出書類は監督官の示す規格様式で作成し必要部数提出すること。
- イ 工事写真撮影は受注者が実施するものとし、着手前の状況、各施工段階、工事完成及び完成後、明視できない箇所の施工状況並びに材料検収、その他監督官の指示するものを黒板を使用してサービス版サイズに整理したうえ、提出するものとする。
- ウ 受注者は、工事請負金額が 5 0 0 万円以上の工事については工事実績情報サービス（C O R I N S）に基づき、「登録のための確認のお願い」を作成し監督官の確認を受けた後に、（一財）日本建設情報総合センターに登録申請するものとする。
- また、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督官に提出しなければならない。

6 特記事項

(1) 共通

- ア 着手に先立ち、事前に現地を確認すること。また、本工事は図面より現地の取り合いを優先すること。
- イ 新設機器は承認図を監督官に提出し、監督官の承認後に発注を行うこと。ただし、仕様書記載の型番は参考型番であり、メーカーを指定しているものではない。
- ウ 電源配線・リモコン配線は全て既設を利用すること。ただし、必要に応じ切り回し若しくは延長を実施する。
- エ 室外機基礎については、既存再利用とする。
- オ 既設空調機と新設室内機との天井開口寸法が合わない場合は、受注者が補修すること。なお、使用する天井材は既存同様（化粧石膏ボード（厚 9 . 0 mm））とする。
- カ 必要に応じて冷媒ガスを追加充填すること。

工事名	1 0 5 建物他空調機更新	3 / 1 0
-----	----------------	---------

- キ 冷媒配管施工完了後、気密試験を実施しガス漏れがないことを確認すること。
- ク フロンガス回収後、関係法令に基づき適切に処理すること。その際、回収及び破壊証明書を提出すること。
- ケ 撤去した空調機はフロンガス回収済明示ステッカー等を貼付けてから監督官側に返納すること。
- コ 工事完了後、試運転調整を行い、異常の有無を確認し、試運転調整結果報告書（様式随意）を提出すること。

7 撤去機器

機器番号	機器名称	機器仕様	台数	据付位置	備考
ACP－ 1	パッケージ型 空気調和機 （室外機）	冷房能力:9000/10000kcal/h	1	屋外	三菱重工業（株） FDC100HP8, 8A
	パッケージ型 空気調和機 （室内機）	暖房能力:9600/10900kcal/h 2 方向吹き出し	2	屋内	三菱重工業（株） FDTW100HP8
AC-3	パッケージ型 空気調和機 （室外機）	冷房能力：4.0 k W 暖房能力:4.5 k W	1	屋外	三菱電機（株） PUZ-ERP45KA2
	パッケージ型 空気調和機 （室内機）	4 方向吹き出し	1	屋内	三菱電機（株） PL-ERP45EA4

8 新設機器

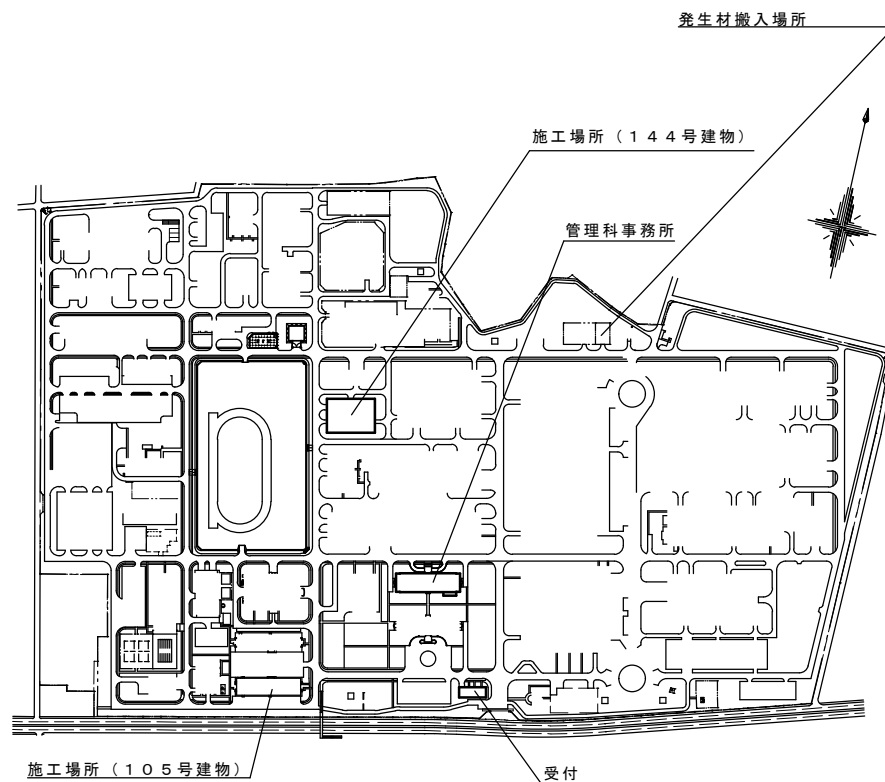
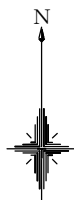
機器番号	機器名称	機器仕様	台数	据付位置	備考※
ACP－ 1	パッケージ型 空気調和機 （室外機）	冷房能力:10.0 k W	1	屋外	日立グローバルソリューションズ（株） RAS-GP112RSH4
	パッケージ型 空気調和機 （室内機）	暖房能力:11.2 k W 2 方向吹き出し	2	屋内	日立グローバルソリューションズ（株） RCID-GP56KA
AC-3	パッケージ型 空気調和機 （室外機）	冷房能力:4.0 k W 暖房能力:4.5 k W	1	屋外	日立グローバルソリューションズ（株） RAS-GP50RSHJ3
	パッケージ型 空気調和機 （室内機）	4 方向吹き出し	1	屋内	日立グローバルソリューションズ（株） RCI-GP50K3

※上記は参考型番である。

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地

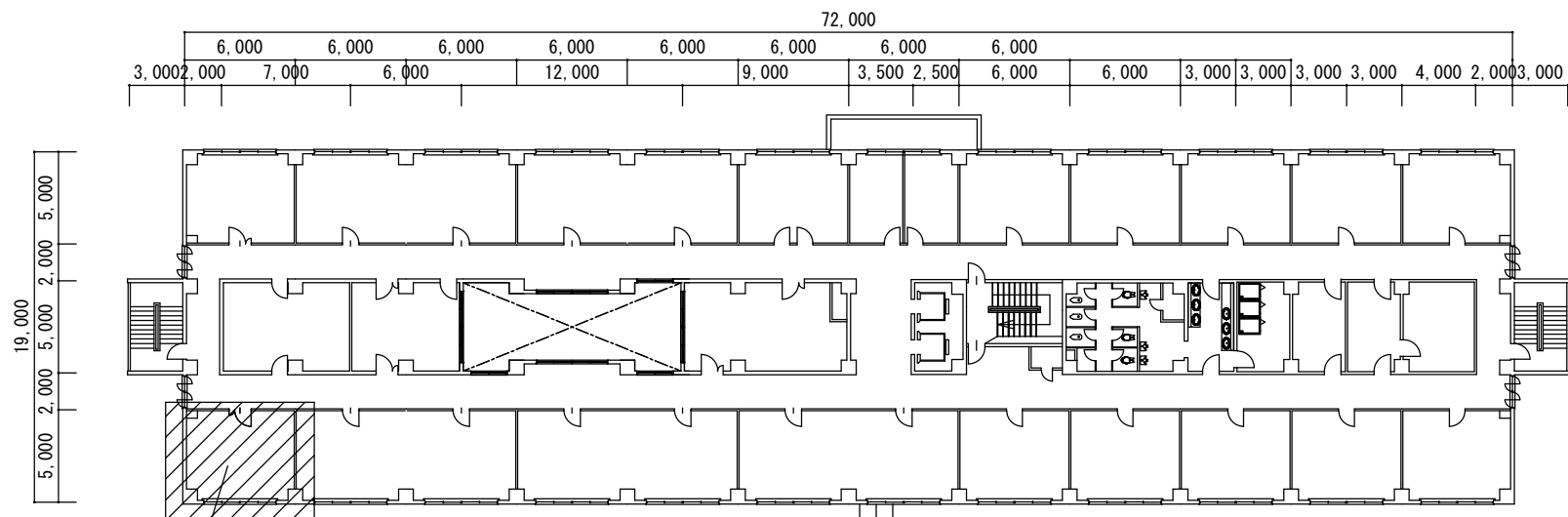


案内図 S=1:X

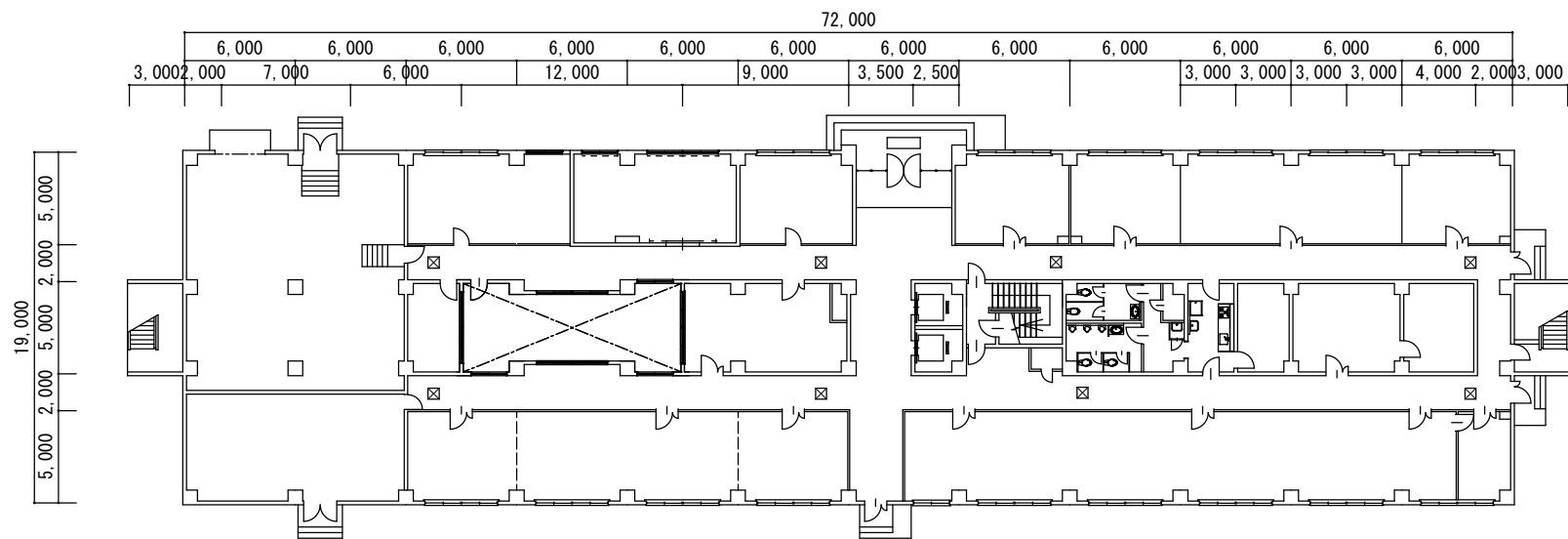


配置図 S=1:X

工事名称	105号建物他空調機更新	図面番号	5 / 10
図面名称	図示	縮尺	
		図示	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊		令和8年6月	

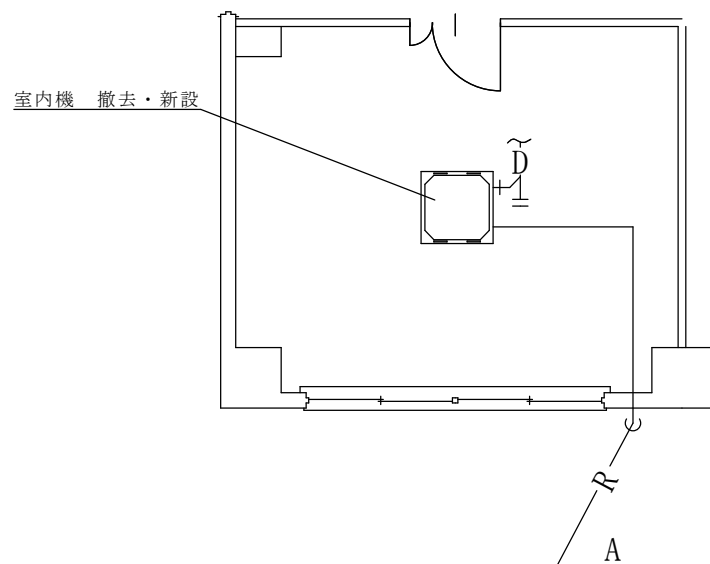


2 階平面図



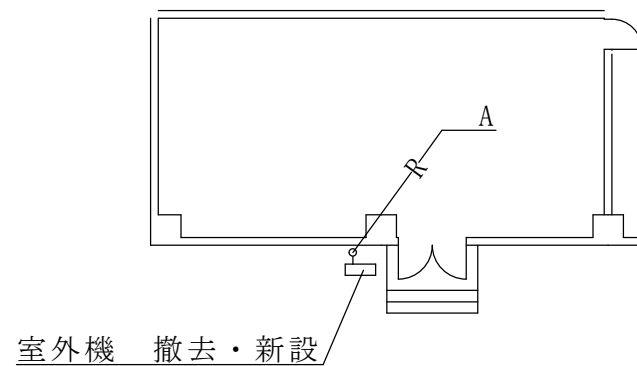
1 階平面図

工 事 名 称	105号建物他空調機更新	図 面 番 号	6 / 10
図 面 名 称	図 示	縮 尺	
		1 / 400	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊		令和8年6月	

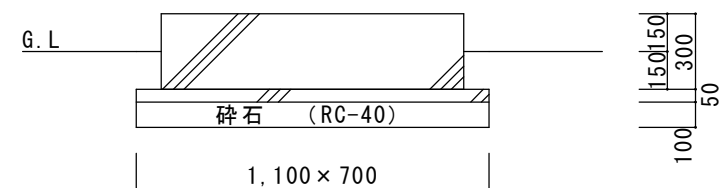


105号建物2階詳細図 1/100

記号	液管	ガス管
A	6.4	12.7

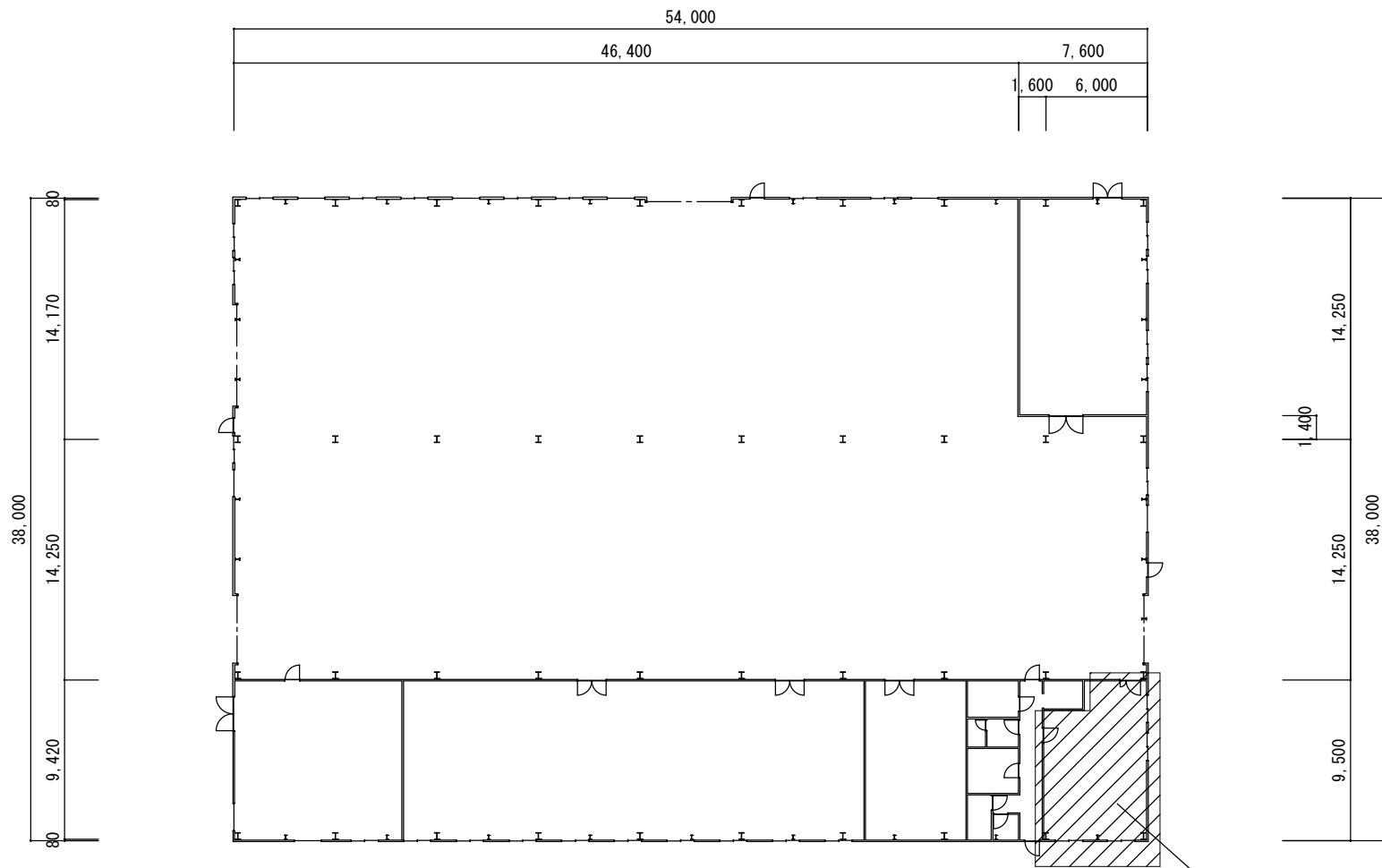


105号建物1階詳細図 1/200



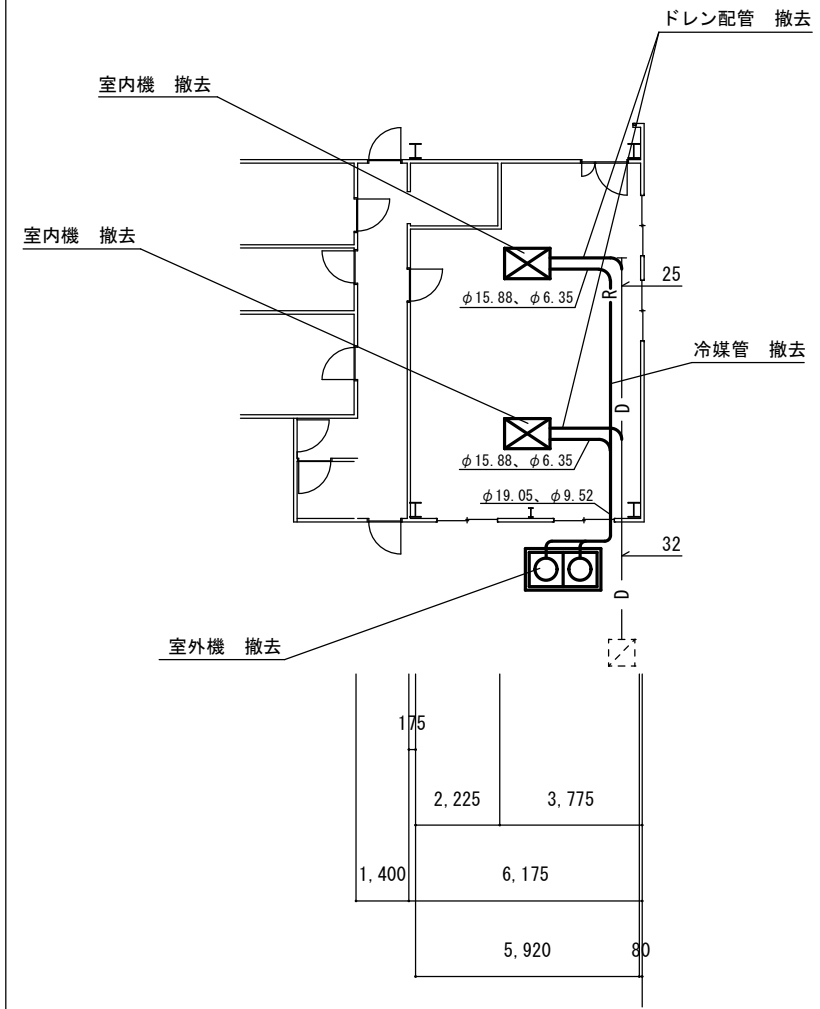
室外機 基礎図 1/X

工 事 名 称	105号建物他空調機更新	図 面 番 号	7/10
図 面 名 称	図 示	縮 尺	
		図 示	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊		令和8年6月	

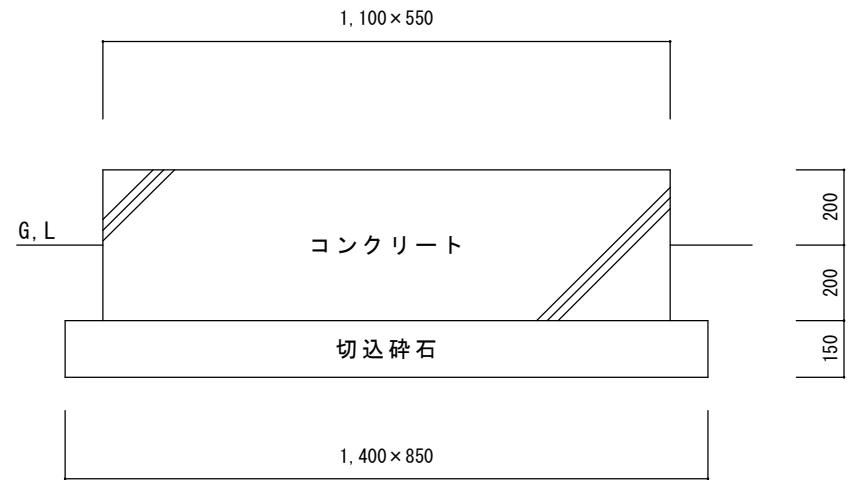
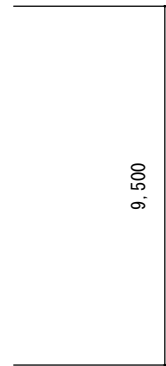


施工箇所

工 事 名 称	105号建物他空調機更新	図 面 番 号	8 / 10
図 面 名 称	144号建物平面図	縮 尺	
		1 / X	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊		令和8年6月	

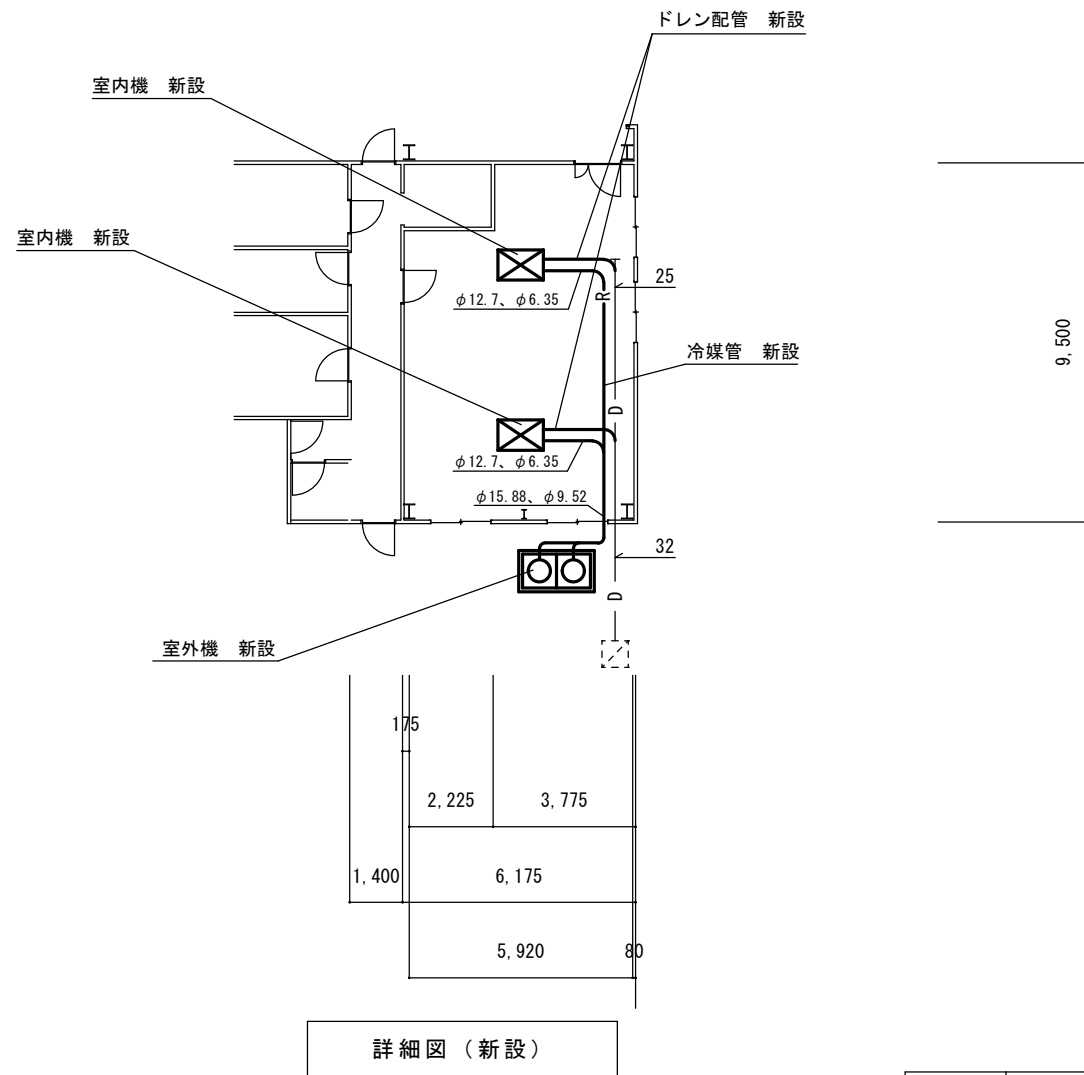


詳細図（既設）



室外機 基礎図

工 事 名 称	105号建物他空調機更新	図 面 番 号	9 / 10
図 面 名 称	図 示	縮 尺	
		1 / X	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊		令和8年6月	



工 事 名 称	105号建物他空調機更新	図 面 番 号	10/10
図 面 名 称	図 示	縮 尺	
		1/X	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊		令和8年6月	

数量計算書

件名 105号建物他空調機更新

[illegible]

数 量 計 算 書

件名 105号建物他空調機更新

No.	品 名	適 用	積算 数量	採用 数量	単位	内 訳	備 考
2	機械設備工事						
(1)	配管工事						
ア	硬質ポリ塩化ビニル管	VP25（屋内一般配管）	7.60	7.6	m	$3.2+0.6+3.2+0.6=7.6$	
イ	冷媒用断熱材被覆銅管	ガス管 φ12.7	9.40	9.4	m	$4.5+0.3+2.8+0.3+0.3+0.6+0.6=9.4$	
ウ	冷媒用断熱材被覆銅管	ガス管 φ15.88	7.30	7.3	m	$2.6+2.6+0.6+0.6+0.9=7.3$	
エ	冷媒用断熱材被覆銅管	液管 φ6.35	9.40	9.4	m	$4.5+0.3+2.8+0.3+0.3+0.6+0.6=9.4$	
オ	冷媒用断熱材被覆銅管	液管 φ9.52	7.30	7.3	m	$2.6+2.6+0.6+0.6+0.9=7.3$	
(2)	保温工事						
ア	保温	25A 天井内	7.60	7.6	m	$3.2+0.6+3.2+0.6=7.6$	
(3)	空気調和設備工事						
ア	パッケージ形空気調和機		1.00	1.0	台	1	144号建物
イ	パッケージ形空気調和機		1.00	1.0	台	1	105号建物
ウ	気密試験費		1.00	1.0	式	1	
エ	機器搬入費	200kg/m ³ 以下	0.194	0.2	t	$0.0325+0.0325+0.06+0.041+0.0275=0.1935$	
(4)	はつり工事						
ア	配管貫通口	16mm（壁厚180mm）	1.00	1.0	か所	1	

数量計算書

件名 105号建物他空調機更新

No.	品 名	適 用	積算 数量	採用 数量	単位	内 訳	備 考
(5)	撤去工事						
ア	冷媒用断熱材被覆銅管	ガス管 φ15.88（再使用しない）	9.40	9.4	m	4.5+0.3+2.8+0.3+0.3+0.6+0.6=9.4	
イ	冷媒用断熱材被覆銅管	ガス管 φ19.05（再使用しない）	7.30	7.3	m	2.6+2.6+0.6+0.6+0.9=7.3	
ウ	冷媒用断熱材被覆銅管	液管 φ6.35（再使用しない）	9.40	9.4	m	4.5+0.3+2.8+0.3+0.3+0.6+0.6=9.4	
エ	冷媒用断熱材被覆銅管	液管 φ9.52（再使用しない）	7.30	7.3	m	2.6+2.6+0.6+0.6+0.9=7.3	
オ	硬質ポリ塩化ビニル管	VP25（再使用しない）	7.60	7.6	m	3.2+0.6+3.2+0.6=7.6	
カ	配管保温	25A（再使用しない）	7.60	7.6	m	3.2+0.6+3.2+0.6=7.6	
キ	パッケージ形空気調和機	ACP-1（再使用しない）	1.00	1.0	台	1	144号建物
ク	パッケージ形空気調和機	AC-3（再使用しない）	1.00	1.0	台	1	105号建物
ケ	機器搬出費	300kg/㎡以下	0.256	0.3	t	0.041+0.041+0.109+0.065=0.256	
3	廃材処分						
(1)	冷媒ガス回収・破壊処理		1.00	1.0	式	1	